

JFA キッズサッカーフェスティバル

いわて in きたかみ with 翔南 写真館

日 時： 2018 年 9 月 2 日 (日) 9 : 3 0 ~ 1 2 : 0 0

会 場： 北上総合運動公園 補助競技場

主 催： (公社) 岩手県サッカー協会

主 管： 北上市サッカー協会、岩手県立北上翔南高等学校サッカー部

後 援： 公益財団法人日本サッカー協会 (JFA) / 北上市教育委員会 / (一財) 北上市体育協会

内 容： グラスルーツフェスティバル形式

ワークショップ(技術練習)とミニゲームを交互に配置

(学んだことをゲームでトライ)

参加者： 105 名 U-8 : 105 名【男 89 名、女 16 名】

運営スタッフ 57 名： 北上市立翔南高校サッカー部 (選手・マネージャー 48 名、監督・顧問の先生)

北上市サッカー協会スタッフ、岩手県サッカー協会キッズ委員会スタッフ 4 名 (瀬谷圭太、佐藤洋充、内田将裕、平澤薫、藤原一裕) ほか

<開・閉会式 会場全体の様子>



<ワークショップ・ゲーム様子>





＜参加者と高校生スタッフの閉会式でのハイタッチ、片付けの様子＞



＜集合写真＞



●参加者・保護者指導者から寄せられた主なアンケートコメント

(1) 今日のフェスティバルの内容はいかがでしたか。

- ・いろいろな練習内容が充実していてよかったです。
- ・また、子どもたちのチームシャッフルも刺激があり良かったと思います。
- ・楽しんでサッカーに触れ合うことができよかったです。
- ・いろいろなアトラクションがあって楽しかった！
- ・種類がいろいろあったので、最後まで飽きずにやり通せた。
- ・とてもよかったです。子どもたちが飽きることなく楽しそうにサッカーをしていました。
- ・(サッカーを) 始めたばかりなので、楽しく学べるすごく良い内容だと思いました。
- ・時間もちょうどよく内容も充実していてよかった。
- ・去年も参加しました。とても楽しめるイベントで本人も満足そうでした。
- ・ただの試合だけでなく、いろいろなことができて面白かった。

(2) 北上翔南高等学校サッカー部の対応はいかがでしたか。

- ・一生懸命で優しく教えていただきよかったです。
- ・急遽の参加での対応もありありがとうございました。
- ・高校生が子どもたちの目線に合わせてともに楽しんでいる姿に好感を持ってました。
- ・ていねいにやり方を教えてくれるなど、低学年にやさしく教えてくれ、子どもたちも楽しんでいた。
- ・イケメンで優しくて最高でした！
- ・とてもやさしかった。
- ・優しく、でも危ないことはしっかりと注意してくれて、頼もしかったです。
- ・子どもたちがとても楽しそうでした。高校生たちの対応がとても良いからだと思います。
- ・優しくてよかったです。
- ・とても丁寧で教え方が上手でした。
- ・翔南生はとてもやさしく対応してくれました。
- ・いうことを聞かない低学年への対応お疲れ様でした。笑顔が良かったです。
- ・とても感じが良くてよかったです。
- ・小さい子相手に大変だったと思うが、きちんと相手してくれていた。
- ・(高校生と) 普段話したりかかわったりできないので、よい機会でした。
- ・とても親切で対応もとてもよかった。
- ・優しく接していただけたと思います。
- ・小さい子供相手に、同じ目線で話していたり、声を出して子どもたちのやる気を上げていたりなどの工夫をしていて大変感心しました。
- ・ムードもよく、コミュニケーション能力が良いです。言葉がけ、励ましなど良かったです。
- ・親切に対応してくれた。
- ・名前を憶えてずっと子どもたちに声をかけていた、けいたコーチ。ありがとうございました。ほかの部員の方々も、優しく色々教えてくれてありがとうございました。
- ・やさしい。最高。ありがとう。
- ・やさしくて、子どもたちがなついていました。
- ・優しく教えてくれてかっこよかった。
- ・1チームに必ず付き添いがいて安心して見られました。

(3) 保護者感想

- ・今年で2回目の参加ですが、昨年同様とても満足しています。ぜひとも、この活動を続けていってほしいです。子どもたちも翔南高校サッカー部を応援しています。
- ・サッカー部の皆さんの対応がとても良かったです。来年も参加したいです。ありがとうございました。ともきせんせいありがとう！
- ・今日は、たくさんのことを教えていただきありがとうございました。いろいろな練習内容、ふれあいなどとても良かったです。家でもまた、自主トレとしてやってみたいと思います。ありがとうございました。朝からのたくさんの準備もありがとうございました。
- ・大人の指導者に教えてもらうことと同じ内容であっても、高校生に教えてもらうことで、また新鮮に伝わることもあると思います。貴重な機会をありがとうございました。
- ・また来年も参加します！ありがとうございました。
- ・子どもが楽しめたようなのでまた来年きたいです。
- ・これからキッズサッカーフェスティバルを通して、サッカーの楽しさをちびっこに伝えていってほしいです。
- ・高校生が丁寧に教えてくださり、子どもたちの楽しそうに行っていたので良かったです。今日は一日ありがとうございました。
- ・今後も、このような企画ができればいいと思います。
- ・準備等ご苦労様でした。
フェスティバルが本人の意欲・自信につながっているように思えます。また、サッカー部の皆さんのコーチングが素晴らしい！！今後また期待しています。頑張ってください！
- ・今年8月に地元のサッカーチームに入部したばかりでした。
とても楽しそうにサッカーをしている息子を見て、参加してよかったと思いました。来年もぜひ参加させていただきたいと思います。
翔南高校の皆さん、貴重な休日の練習時間をイベントに使っていただきまして、ありがとうございました。サッカー協会の皆様、スタッフの皆様、本当にありがとうございました。
- ・子どもがワクワク楽しそうでした。ありがとうございました。

●運営スタッフ（北上翔南高校サッカー部）のコメント

3年 菊池 颯

3年間、このフェスティバルを通して培ったものも多く、サッカー協会の方々や子どもたちにも感謝しています。今回は過去最高数の人数ということもあり、不安でしたが何とか成功させることができ良かったです。また機会がありましたら関わっていききたいと思いますのでよろしくお願いいたします。

3年 キャプテン 及川 慧大

子どもに楽しんでもらえてよかったし、自分自身とても楽しませてもらった。これからも関わっていききたい。

3年 部長 菅原 達

自分にとっては高校生活最後のフェスティバルだったがU8の子どもたちと全力で向き合い楽しめたので良かった。これからもサッカーを通じてプレーヤーとしてまた一人の人間として成長してくれたらうれしい。

3年 及川 大志

小さい子どもたちと楽しくサッカーすることができた。良い経験になった。

3年 今野 智稀

今日のフェスティバルを楽しみにしていました。言うことを聞かない子が多くて最初は大変だったけど、みんなと仲良くなって楽しめました。子どもたちも楽しめることができて良かったと思います。大成功でした。

3年 堀江 虎太郎

最初から最後まで楽しくピッチ指導できたので良かった。また3年生として1、2年生にも指示でき円滑に進めることができて良かった。

3年 宮本 暢

今回は裏方的な仕事が多かったけど、仕事にやりがいを感じられたし、子どもたちとのふれあいが自分にもいい影響があった。

3年 濱田 壮太

子どもたちが楽しそうサッカーをしていたので良かった。3年間取り組んでとても良い活動だと思った。

3年 三浦 涼雅

子どもたちが楽しんで取り組んでいたようで良かった。自分自身も楽しめました。

2年 高橋 真虎

今回が8回目になるということでとても素晴らしいフェスティバルだと思います。また自分は2回目の参加で昨年よりも子どもの人数が増え少し大変でしたが子どもたちに元気をもらいとても楽しく指導することができました。これからの自分のサッカー人生につながる良い経験になりました。サッカー協会の方々、このようなフェスティバルの企画運営ありがとうございました。来年もよろしくお願いします。

1年 龍揖 啓人

最初は大変で自分は楽しめないと思っていたけれど子どもたちと交流しながらサッカーするのはとても楽しかったです。子どもたちも楽しんでくれて、頑張ったかいがあったと感じました。このフェスティバルをきっかけにサッカーをする子やスポーツをする子が増えたらいいなと思いました。良い経験ができたと思うので将来に生かしていきたいと思います。

●県協会スタッフのコメント

今年の北上翔南フェスティバルは事前応募が96名、さらに当日参加が4名の100名でのスタートとなりました。さらに、会場に来ていた子供も「やりた〜い!」と申し出てくださり、最終的に105名の参加となりました。フェスティバルは従来通りのグラスルーツ形式(トレーニングとゲームを交互に行う)で行われました。が今回は各セッションのメニューを一新し、新たな一歩を踏み出す事にもチャレンジしたフェスティバルでした。フィールドの男子メンバーは子供たちにわかりやすい言葉で伝え、笑顔で接し、一緒に楽しんでいました。女子マネージャーは運営だけでなく、フィールドに行き子供たちと接したりしておりました。また、遊びに来ていた子の擦り傷の手当てをしている光景も見られました。競技終了時には「もう終わり?」「まだやりたい!」と子供たちからの声がたくさん聞こえ、閉会式終了後も帰らず高校生スタッフとお話したり遊んだりしており、とても印象的でした。子供たちはいろいろなトレーニング・ゲームのなかで、考えたり、チャレンジしたり、声を掛け合ったりと楽しみながらプレーしておりました。今年で8年目の北上翔南フェスティバル。今後も継続し、多くの皆さまに参加していただき、体を動かすことの楽しさ、そしてサッカーの楽しさを体験していただきたいです。北上翔南高校の皆さま、参加していただいた子供たち、保護者の皆さま、スタッフの皆さま、お疲れ様でした。

キッズ委員会 フェスティバル責任者 佐藤洋充

●全体統括者コメント

最高の天気の中、8回目となる北上翔南高等学校サッカー部が指導する「JFA キッズサッカーフェスティバル in 北上 with 翔南」が開催されました。

【事前の準備】

今日の日を迎えるために、7月15日にサッカー部の活動としてJFA公認キッズリーダー講習会U-8の講義と実技(子供たちにサッカーを教える資格を取る講習会。高校生以上は受講することができます)を3時間行いました。さらに、8月25日には当日の仕事分担をして、運営の準備・指導の準備を半日かけて行いました。

この取り組みの段階で、高校生は、意欲的に学んでくれました。2年生3年生は、昨年度までの経験を生かして、子供たちへの指導を意識して取り組みました。

【当日】

① 子どもたちの様子

105人の参加者が元気に取り組んでくれました。

このフェスティバルは、個人参加もチーム参加も、全員をシャッフルして、16チームを編成しました。そのチームが10コートに分かれてトレーニングとゲームを交互に繰り返す「グラスルーツ形式」で行いました。

この形式の良さは、ゲームを様々な形で行い、そのゲームの前後にはゲームで使えるトレーニングをキッズらしく楽しく行うところです。楽しんで取り組んでいるうちに、サッカーに必要な動きを経験し、その取り組んだところがゲームで生かせるというものです。子どもたちは、次々に代わるトレーニングやゲームで、即座に対応しつつ、楽しく笑顔でボールを蹴っていました。「新しい友達とのコミュニケーションをとる力」

「様々な動きを経験する中で“後から伸びる力”を育む動きづくりの力」「サッカーで使える力」などを楽しむ中で身につけていました。

熱中症に気を付けて水分を取りながら、みんなが、自分に合った形で、元気に最後まで取り組むことができました。

② 高校生の様子

翔南高校サッカー部の選手が子どもたちの目線に立ち、子どもたちに寄り添った丁寧な指導をしたことで、子どもたちはちょっと難しいことにもどんどんチャレンジしていききました。

U-8（小学校 1 年生 2 年生）年代は、大人が思う以上にサッカーに全力で取り組んだり、大人が思う以上に気持ちが向かなかったりすることがあります。そのことも踏まえて、高校生は子供たちに全力で接してくれました。時には、涙を流す子どもたちにやさしい言葉をかけ、時には、気持ちが乗らずに休憩する子どもたちに気持ちが乗るまで声をかけ続け、時には、熱血応援をして子どもたちをやる気にさせるなど、私たち大人の指導者が見習うような指導をしてくれました。「青は藍より出でて藍より青し」の言葉のごとく、高校生が頑張ってくれました。

【まとめ】

8 年目となる高校生が U-8 にサッカーの楽しさを伝える取り組み。「継続は力なり」の言葉のごとく、伝統となりつつある北上翔南高等学校サッカー部の取り組みは、とても良かったです。子どもたちのプレーの変化に目を見張りました。子どもたちに寄り添った、子どもたちのためを思うしなやかな指導。これはこれからの子どもたちにとって必要な指導の仕方だと思います。私たち岩手県サッカー協会キッズ委員会も、この取り組みを継続して、さらに子どもたちのためになる指導を進めたいと思います。

岩手県サッカー協会キッズ委員会は、北上翔南高等学校サッカー部、遠野高等学校サッカー部、盛岡市立サッカー部にこのような取り組みを一緒に取り組ませていただいています。興味のある方は、ぜひサッカー協会にお問い合わせください。

キッズ委員会 委員長 瀬谷圭太

（編集：蝦名浩明）